

No.	識別番号	性	年齢	日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
61	B-05024835	男	■歳	50 mg	アセトアミノフェン	譫妄	回復	A型インフルエンザで発熱(39.2℃)が見られ、リン酸オセルタミビルを服用した。服用開始から約2時間後にせん妄(突然起きあがる。走り出しそうな感じがあり、押さえつけるなど)を発現し、投与中止後もせん妄が数回見られた。せん妄は事象発現から6日目に回復した。
62	B-05024837	男	■歳	99 mg		幻覚	回復	A型インフルエンザで発熱(38.8℃)が見られ、リン酸オセルタミビルを服用した。服用開始から約1時間後に幻覚等(玄関から外出するなど)が発現し、その後幻覚の症状は回復した。投与開始から約10時間半後にリン酸オセルタミビルを服用したところ、その約1時間後に幻覚が発現し、幻覚は約5分程度で消失した。
63	B-05024838	男	1■歳	150 mg	アセトアミノフェン	異常行動	回復	発熱(38.5℃)が見られ、リン酸オセルタミビルの服用を開始した。投与開始日の2回目服用から約30分後に、就寝中より突然起き出して父親に抱きついたり、母妹に意味不明な言語を発する等の異常行動が発現し、約30分間持続した。その後、異常行動から回復した。
64	B-05024865	男	8■歳	150 mg	アスピリン 酒石酸イフェンプロジル 塩酸タムスロシン ヒトインスリン(遺伝子組換え) 非ピリン系感冒剤(4) 臭化水素酸デキストロメトルファン スパルフロキサシン ジクロフェナクナトリウム	譫妄	回復	A型インフルエンザで発熱(38.5℃)が見られ、リン酸オセルタミビルの服用を開始した。服用開始から2日目にインフルエンザが軽快・回復した。投与開始から3日後にせん妄(窓を開けて外へ出るなど)が発現し、せん妄発現から3日目の朝にせん妄から回復した。
65	B-05024963	男	1■歳	75 mg	アセトアミノフェン 臭化水素酸デキストロメトルファン d-マレイン酸クロルフェニラミン	意識レベルの低下 異常行動 悪心(嘔気)	回復 回復	A型インフルエンザ発症のため夕方リン酸オセルタミビル服用開始(39℃)。服用後意識障害(少し変なことを言う)発現するもすぐに治まった。嘔気もあり。翌朝本剤服用後、約4時間後に異常行動(服を脱いで家の外へ飛び出す)発現し行動障害(いつもできることができない等)が少し続いた。患者が落ち着いた後、総合病院を受診し血液検査と脳MRI撮影実施。3日後、落ち着いており、12日後、検査結果に異常なし、精神神経症状もなし。

No.	識別番号	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
66	B-05024964	女	■歳	30 mg	ヒベンズ酸チペピジン カルボシステイン 塩酸シプロヘプタジン 塩酸アンブロキシール ツロブテロール	譫妄	回復	A型インフルエンザに対し発症の翌日よりリン酸オセルタミビル服用開始(38°C)。服用2時間後より譫妄状態(突然起きあがる、目つきがおかしい、異常な発言、毛布をくわえる等)が8時間ほど続き、朝4時頃就眠。その後6時に覚醒、意識は清明で発熱(39°C台)はあったが譫妄はその後出現せず。インフルエンザ発症12日後インフルエンザ軽快。
67	B-05025213	女	1■歳	150 mg	クラリスロマイシン 塩酸チアラミド 非ピリン系感冒剤 リン酸ベンプロペリン アセトアミノフェン	異常行動	回復	発熱が見られた3日後よりA型インフルエンザのためリン酸オセルタミビル服用開始(39.5°C)。初回服用1.5時間後にトイレでいきんだ後30秒ほど白目をむいた感じになった。2回目服用2.5時間後に異常行動(突然起きあがり意味不明な発言)発現のため救急受診。受診時の受け答えは正常。翌日インフルエンザ軽快し精神状態等も正常。
68	B-05025437	男	1■歳	150 mg	アセトアミノフェン 塩酸アンブロキシール	異常行動	回復	A型インフルエンザにてリン酸オセルタミビル服用開始(39.1°C)。2回目服用2.5時間後に突然寝ていたが起きだし、外に飛び出し15分後に戻る。その間記憶なし。翌日(36.7°C)外来受診し本剤中止、異常行動回復。
69	B-05025476	男	1■歳	150 mg		痙攣 意識レベルの低下 異常行動	未回復 未回復 未回復	インフルエンザウイルスは陰性だったが、家族に陽性の患者がいたため本剤投与開始。異常行動、意識障害、痙攣発現。(担当医の協力が得られず詳細は不明)
70	B-05025582	男	1■歳	150 mg	アセトアミノフェン 臭化水素酸デキストロメトर्फアン シヤゼンソウエキス	異常行動	軽快	A型インフルエンザ治療のためリン酸オセルタミビル服用開始(39°C)。2回目服用後、異常行動(部屋の中をぐるぐる回る、2階から飛び降りようとする等)発現。父親が取り押さえ約40分後異常行動(わめいたり暴れたり)軽快し眠った(39°C以上)。翌朝解熱(36.7°C)し意識は正常で異常はなかった。母親の話では1年ほど前にも発熱した際に今回のようにひどくはなかったがうなされたことがあった。
71	B-05025583	男	1■歳	150 mg	アセトアミノフェン 臭化水素酸デキストロメトर्फアン シヤゼンソウエキス	異常行動	軽快	A型インフルエンザにてリン酸オセルタミビル服用開始(38.5°C)。午前中1回目服用後寝ていたが突然異常行動(階段を駆け下り、学校へ行くといいカバンを背負って外へ飛び出そうとする)発現し、しばらくの後症状軽快。その後も本剤を処方通り服用するが異常行動発現せず。

No	識別番号	性	年齢	日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
72	B-05025584	女	■歳	54 mg		異常行動	回復	A型インフルエンザにてリン酸オセルタミビル服用開始(39.1℃)。昼前1回服用約4時間後に異常行動(部屋の中を急にウロウロ歩き回る)発現。その後、安静にて就眠。同日再診し溶連菌+を確認、本剤中止、水分補給、安静を指示。翌午前異常行動回復、インフルエンザも回復。
73	B-05025585	男	■歳	120 mg	ヒベンズ酸チペピジン カルボシステイン フマル酸クレマスチン	異常行動	軽快	A型インフルエンザにてリン酸オセルタミビル服用開始。1回目の服用後異常行動(見えるはずのないものが見えるという)発現。2回目の服用後異常行動(訳のわからない言動、部屋を駆け回る等)発現。その夜に来院し入院、本剤服用を中止。翌日異常行動軽快。その後、異常行動は発現せず。
74	B-05025587	女	9■歳	150 mg	クラリスロマイシン レバミピド オキサトミド	幻覚 異常行動	回復 回復	発熱(38.6℃)があり、インフルエンザ患者と2日間の接触があったため、リン酸オセルタミビル及び併用薬処方となる(確定診断は行っていない)。投与1日後に平熱となる。本剤5回服用後の夜中、幻覚症状(大声で幻覚症状を訴える)発現し本剤服用中止。本剤中止3日後に幻覚、異常行動(外へ出て座っている等)は回復。
75	B-05025720	男	■歳	不明	解熱剤(不明)	異常行動	軽快	A型インフルエンザ治療のため本剤服用開始。2回目本剤と解熱剤服用30分後に異常言動(にたにた笑う、両手で何かを掴もうとする)発現。救急車にて入院。夜間異常言動あり(ベッド柵を乗り越えようとする、意味不明な言葉を発する)。翌朝意識清明で、脳波、MRIに異常所見なし。入院3日目に異常言動軽快退院。
76	B-05025721	男	■歳	102 mg		異常行動	回復	A型インフルエンザ治療のため本剤服用開始(39.5℃)。初回服用5時間後トイレに起きた時に異常行動(トイレに起き部屋で排尿、階段を昇ったり降りたり、突然笑ったり)発現し、約1時間続いた。その後本剤2回目服用するが異常行動は認められていない。翌朝解熱し本剤服用中止。いつもよりボーっとし寝てばかりいるため、夕方経過観察のため入院。点滴後元気が出てきてインフルエンザ軽快、異常行動軽快。翌日、全身状態良好にて退院。

No	識別番号	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
77	B-05025722	男	■歳	160.2 mg	セフジニル 塩酸シプロヘパタジン 解熱剤(不明)	異常行動	軽快	インフルエンザ治療のためリン酸オセルタミビル服用開始(40°C)。併用薬と本剤初回服用1時間後異常行動発現(急に立ち上がりケタケタ笑う、トイレにこもり大きな音をたてる)後、一旦入眠。異常行動発現1時間後、話しかけに無反応、目線があわない等あり。夜中受診し入院となる(39.4°C)。入院時意識清明、異常言動なし。入院翌日以降異常言動なし。脳波、左後頭部に徐脈。MRI左側頭葉に高信号。入院5日後異常言動軽快退院。
78	B-05025723	男	1■歳	150 mg		健忘 激越 異常行動 錯乱状態	回復 回復 回復 回復	A型インフルエンザ治療のため本剤服用開始。夜間本剤服用後、家の中を大声で動き回り、家族が抱きかかえた。興奮、錯乱状態発現。2時間毎に興奮状態が出現。その後寝入って落ち着き興奮、錯乱状態、健忘症回復。翌日解熱し本剤中止。(約1ヶ月前インフルエンザが強く疑われたためアマタジン投与。その際は高熱(39.1°C)だったが、興奮状態等の訴えはなかった。)
79	B-05025724	男	5■歳	75 mg	アセトアミノフェン アミノ酸・糖・電解質(2-3)	精神症状 自殺既遂	不明 死亡	肺結核後遺症に伴う慢性呼吸不全に感冒を合併し入院。経過は良好であったが入院7日目に院内でA型インフルエンザに感染。18時頃、両下肢のしびれ感などの合併があり、将来の健康に関して全般的な不安を訴えていた。19時頃に本剤服用開始(体温39.2°Cありアセトアミノフェンを本剤とともに服用)。22時の体温は37.3°C。翌朝5時に生存を確認。6時30分病床不在確認、7時39分飛び降りて死亡しているのが発見された。自室のノートに遺書有り。
80	B-05026722	女	■歳	54 mg	ヒベンズ酸チペピジン カルボシステイン アセトアミノフェン	精神症状	回復	A型インフルエンザで発熱(39.8°C)が見られ、リン酸オセルタミビルの服用を開始。投与開始日の夜に40°Cの発熱とともに奇声をあげて起き上がり、室内を歩き回る中枢神経症状が発現した。この後リン酸オセルタミビルの服用を中止した。投与開始から2日目の昼も同様の症状がみられた(体温37.5°C前後)。投与開始から3日目は中枢神経症状がみられていない(体温39.5°C)。その後、投与開始から5日目に中枢神経症状が回復した。

No.	識別番号	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
81	B-06000186	男	■歳	不明	アセトアミノフェン	異常行動	回復	インフルエンザA型発症、本剤5日間内服する。内服中、幻聴が続いている。その約2ヶ月後、発熱を認め、B型インフルエンザの疑いがあることから、リン酸オセルタミビルと抗生物質の服用を開始。39°C代の発熱が見られたことから、アセトアミノフェン坐剤を投与。リン酸オセルタミビルの投与開始日の夜に異常行動(突然起きて異常な発言をし、母親の足跡の間に自分の指を入れたり、制止がきかない程暴れる)が発現し、翌日の朝にかけて異常行動(入眠中突然起きて異常な発言)が見られた。その後、異常行動は見られず、回復した。
82	B-06001533	男	■歳	60 mg	塩酸シプロヘプタジン カルボシステイン ヒベンズ酸チペピジン	意識レベルの低下	回復	A型インフルエンザ治療のためリン酸オセルタミビルの服用を開始した。服用開始から3日目に午前中分のリン酸オセルタミビルを服用した約1時間後に意識障害(奇声を発死、頭を壁へぶつけるなど)が発現し、約5時間持続した。その後、意識障害は回復し、再燃しなかった。
83	B-06001534	男	7■歳	150 mg	塩酸ブラゾシン メチルドパ ロラタジン ヒベンズ酸チペピジン 非ピリン系感冒剤(4) 塩酸セトラキサート 鎮咳配合剤(1) セネガ	平衡障害 異常行動	回復 回復	A型インフルエンザで発熱(38.0°C)が見られ、リン酸オセルタミビルの服用を開始した。服用開始から約2時間後に平衡機能障害が発現し、約5時間後に回復した。初回服用から約5時間後にリン酸オセルタミビルを服用し、約2時間後に異常行動(田植えをしている動作)が発現し、約24時間後に回復した。
84	B-06005344	女	1■歳	150 mg	酒石酸ゾルピデム エチゾラム 非ピリン系感冒剤(4)	自傷行動	回復	インフルエンザ(診断確定未実施)治療のためにリン酸オセルタミビルの服用を開始した。投与開始から5日目に自傷行為と記憶消失が発現し、約5時間後に回復した。服用開始から6日目にインフルエンザが軽快している。
85	B-06006859	女	■歳	35 mg	塩酸シプロヘプタジン ヒベンズ酸チペピジン カルボシステイン ツロブテロール	せん妄 異常行動	回復 回復	A型インフルエンザで発熱(39.5°C)が見られ、リン酸オセルタミビルの服用を開始した。初回服用開始後、せん妄及び異常行動が発現し、回復した。服用開始から2日目及び3日目もリン酸オセルタミビル服用後にせん妄及び異常行動(落ち着きなく動き回る等)が発現し、回復した。

No.	識別番号	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
86	B-06010806	男	1■歳	114 mg	鎮咳配合剤(1) カルボシステイン アセトアミノフェン	譫妄	回復	B型インフルエンザの治療のためリン酸オセルタミビルの服用を開始した。服用開始から1日目の夜にせん妄が発現し、翌日の朝に回復した。服用開始から2日目の夜にせん妄(起き出すなど)が発現し、翌日の朝に回復した。リン酸オセルタミビルは服用開始から6日目の朝まで服用したが、これ以外の症状は見られなかった。
87	B-06012472	女	1■歳	75 mg	アセトアミノフェン クラリスロマイシン カルボシステイン	意識レベルの低下	回復	B型インフルエンザで発熱(38.8℃)が見られ、リン酸オセルタミビルの服用を開始した。服用開始から3時間弱で意識障害(窓の方へ駆け出し、叫ぶ)が発現し、入院することになった。リン酸オセルタミビルの服用は中止し、塩酸プロカテロールの服用を開始したが、その日の夜に意識障害が見られた。リン酸オセルタミビルの投与開始から6日目にインフルエンザ症状が軽快し、意識障害も回復した。
88	B-06016893	男	8■歳	150 mg	テオフィリン コハク酸メチルプレドニゾンナトリウム アミノフィリン 維持液(17)	譫妄	回復	慢性腎不全、洞不全症候群、脳梗塞の治療継続中。ペースメーカー留置。発熱、呼吸苦、低酸素血症、炎症反応によりインフルエンザ確定診断を実施。入院後、点滴(コハク酸メチルプレドニゾンナトリウム、アミノフィリン)及びリン酸オセルタミビルを投与開始。2日目、落ち着きがなくやや興奮気味、せん妄発現、点滴投与中止。3日目夕方よりリン酸オセルタミビル投与中止後、ハロペリドール投与(3日間)。4日目せん妄回復。以降症状なし。
89	B-06017551	女	7■歳	150 mg	アミノフィリン アジスロマイシン水和物 モンテルカストナトリウム プロチゾラム 塩酸クレンブテロール ファモチジン チアマゾール フドステイン プレドニゾン アセトアミノフェン	譫妄	回復	喘息、甲状腺腫の既往歴あり。気管支喘息のため入院後、アミノフィリン、プレドニゾン投与後、アジスロマイシン水和物を処方。発熱があり、インフルエンザAによりリン酸オセルタミビルの投与開始。4日後夜、失禁、夜間せん妄発現。翌日朝以降症状なし。5日後まで投与継続、インフルエンザ回復。
90	B-06022861	男	2■歳	150 mg	なし	異常行動 過換気	軽快	インフルエンザA型治療のため、リン酸オセルタミビル投与。当日、異常行動、過換気発現。投与中止により翌日軽快。

No.	識別番号	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
91	B-06022963	男	1■歳	150 mg	アセトアミノフェン	異常行動 幻覚	回復	B型インフルエンザの確定診断により、リン酸オセルタミビルを午前中帰宅後と夕食後に内服後、夜間睡眠中に、自分の身に家人より危害を加えられると思ひ込み、家を飛び出し知人宅を廻る。7時間後、幻覚、異常行動回復。
92	B-06024212	男	1■歳	150 mg	なし	錯乱状態	回復	リン酸オセルタミビル投与開始後、2日目に錯乱発現、投与中止。翌日、錯乱回復。
93	B-06024227	男	1■歳	150 mg	レバミピド 塩酸セチリジン アセトアミノフェン 塩酸ホミノベン	嗜眠 異常行動	回復	A型インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル75mgx2回/日を投与。4日目にインフルエンザ軽快・回復。6日目の10回目投与後、学校で授業中突然歌を歌う。視線が定まらず早退。帰宅後も嗜眠傾向。採血、検尿、脳CT異常なし。脳MRI、脳波は興奮のため最後まで撮れないが、撮れた分は異常なし。15日目では異常行動、嗜眠傾向は未回復。21日目以降の時点で父母から見て正常に戻ったと評価している。
94	B-06024378	男	1■歳	150 mg	非ピリン系感冒剤(4) テリスロマイシン 塩酸アンプロキソール ヒベンズ酸チペピジン テプレノン	異常行動 自殺企図	軽快	B型インフルエンザと診断。体温39°C。リン酸オセルタミビル2回目服用後、3時間後に悪夢を見て暴れた。その6時間後、再度暴れ、包丁の刃を自分に向けていた。2時間後、自殺未遂及び異常行動は軽快。
95	B-06024435	女	2■歳	150 mg	なし	多幸気分 不眠症 口渇	不明	リン酸オセルタミビル2日間投与。5日後、高揚感、口渇、不眠が発現。その3日後、ベッドで暴れ、口渇を訴えている。
96	B-06024534	男	1■歳	150 mg	臭化水素酸デキストロメトルファン α-マレイン酸クロルフェニラミン アセトアミノフェン	異常行動 転倒	軽快	インフルエンザA型と診断後、リン酸オセルタミビルを投与。2日目午前に服用後、夕方、母親が目を離した間に、2Fベランダから飛び降りた。
97	B-06024795	男	1■歳	150 mg	アセトアミノフェン	異常行動 転倒	死亡	インフルエンザA型にて本剤を服用するが、異常行動発現なし。約1年後、発熱(38.9°C)、咽頭痛、インフルエンザB型陽性で本剤を処方。朝、夕服用し、その夜に自宅マンションから飛び降り死亡。

No	識別番号	性	年齢	1日 用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
98	B-06024909		1■歳台	不明	mg		自殺企図	回復 本剤投与開始後、自殺企図発現。 外を走り回っているところ見つけられ、家に連れ戻された が、2階へ駆け上がり自分の部屋から飛び降りる。
99	B-06024911	男	■歳	150	mg	アセトアミノフェン	激越	軽快 本剤4回投与後、あばれる、走り回る、奇声を発するなどの 興奮状態発現。 翌日、症状軽快
100	B-06024935	男	1■歳	60	mg		異常行動	回復 本剤投与開始の翌朝突然起きて異常行動(徘徊、大声で 叫ぶ)発現。 押さえ込んでしばらくした後、意識が戻る。 本剤の服用は1回で、その後中止。正常に。
101	B-06025002	男	5■歳	150	mg		異常行動	未回復 本剤投与開始後、異常行動発現。 本剤投与中止、異常行動は5日後時点で未回復
102	B-06025006	男	1■歳	不明	mg		異常行動	回復 本剤投与後、異常行動(階段から飛び降りようとし、クロー ゼットの中に座り込む等)が10分程出現。 救急車で来院、来院時には軽快。
103	B-06025041	男	1■歳	150	mg		傾眠 失見当識 異常行動	軽快 投与開始3日後、異常行動、意識障害(傾眠)、意識障害 (失見当識)発現。経過観察の為、入院。 投与終了4日後、症状改善し、退院。 退院4日後まで、見当識障害あり。 翌日、異常行動、意識障害(傾眠)、意識障害(失見当識) 軽快。
104	B-06025100	男	1■歳	30	mg		異常行動	回復 発熱(39℃)、頭痛があり、インフルエンザ陽性のため、本 剤投与。 1回目内服後、起きあがろうとしたり、意味不明な話をしてく る。 その後、本剤処方せず、リレンザ服用。 現在は回復し、通学。



No	識別番号	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
105	B-06025101	男	1■歳	75 mg	アセトアミノフェン	異常行動	不明	本剤服薬2時間後に幻覚をみて、異常行動(裸足で外に飛び出した。)出現。帰宅後、自ら電話し、救急車で他院に搬送。点滴により落ち着き帰宅。夜になると怯えてしまう。屋間は問題なし。 その後も就寝後1時間くらいでおきだして、錯乱状態となる。5日後、解熱。7日後、通学し始める。 就寝後の錯乱状態が続くため、他院受診。「夜驚症」と診断される。
106	B-06025118	男	6■歳	150 mg		異常行動 自殺既遂	不明 死亡	既往歴にうつ病があり。 本剤投与開始後、異常行動、精神・神経症状発現。 本剤投与中止後、透析5回実施。 投与中止10日後、自殺。  ※自殺目的で放火したものの、死してはいないことが判明
107	B-06025119	男	8■歳	150 mg		異常行動	回復	服用開始3日後、異常行動(除草剤を飲む)発現。 同日入院、回復。
108	B-06025190	男	1■歳	75 mg		幻聴 異常行動	回復	高熱(39.4℃)で来院。インフルエンザA型に対して夜より本剤服用。 翌日の午後、異常行動、幻聴発言し、トイレの窓より飛び出し自宅のまわりを裸足で走り、川の中までいった。 夜、服用中止。家族がつきそう。 2日目、受診し、脳症を疑ったが、解熱しており、意識状態正常と診断。 幻覚、異常行動、幻聴回復
109	B-06025191	男	1■歳	150 mg		譫妄	回復	過去に本剤内服あるが、その時副作用なし。 高熱(39℃)が出たため、姉に処方されていた本剤を服用し、受診。 その後、せん妄状態発現(約30分間持続)。 あばれだすようになったが、自室に入った。せん妄状態で発熱(39℃)が続いており、落ち着いた頃に本剤を追加服用。 庭に倒れていたところを家族が発見、中2階から転落した様子だが、本人記憶なし。せん妄状態回復。 翌日、来院、高熱(38.9℃)継続。

No.	識別番号	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
110	B-06025192	男	3■歳	75 mg	葛根湯 ロキソプロフェンナトリウム	異常行動	回復	本剤服薬4時間後に錯乱状態となり、自宅2階から飛び降り、足を骨折。 骨折のため、他院を受診、その際意識もはっきりしており、体温も36℃台であった。 4日後、整形外科で手術。 入院中、意識レベル正常、異常行動回復。
111	B-06025200	女	■歳	不明	ヒベンズ酸チペピジン カルボシステイン フマル酸クレマスチン	異常行動	回復	インフルエンザのため、本剤投与開始。 朝は嘔吐してしまったため、その日の夜に服用、その夜から異常行動(わけのわからない行動が続き、一晩中眠れなかった)が続く。 2日後、異常行動回復
112	B-06025315	男	1■歳	75 mg	テオフィリン アセトアミノフェン プロピオン酸フルチカゾン 塩酸プロカテロール	異常行動	回復	発熱を伴う風邪症状で本剤、カロナールを処方。 その夜、本剤服用後就寝し、夜中に異常言動発現叫びながらベランダに向かって歩き出す。 再度受診し、服用を中止。 その後、異常行動なし。
113	B-06025316	男	2■歳	75 mg		自殺企図	回復	本剤服用後、異常行動(自殺企図:マンションの渡り廊下に登ろうとする。何かにおびえた様子で「死んでから謝ろうと思った」と発言)発現。 落ち着いてから話をすると自分のとった行動に記憶があり、当時不安になるような心当たりはまったくないとの由。
114	B-06025337	女	■歳	不明		異常行動	回復	夕刻、本剤服用。 5時間後、異常行動(急に起きあがり、トイレへ駆け込んだ。その後、便座や自分の太腿を必要以上にさすっていた)発現。 心配になった両親が救急車を呼び、入院。 翌日、解熱し退院。
115	B-06025418	女	■歳	35 mg		激越 異常行動	回復	本剤投与開始後、異常行動、興奮状態発現。 翌日、異常行動、興奮状態回復。

No.	識別番号	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
116	B-06025419	女	4■歳	75 mg		自傷行動	不明	本剤1capを服用後、自己判断で中止。 4日後、熱が下がらないため、再度1cap服用。 5~6時間後、自室にてタオルを首に巻き付けた状態で意識を失っているところを家族に発見され、入院する。 入院し、意識は回復。
117	B-06025421	男	■歳	不明		異常行動	回復	2年前にも本剤服用しているが、問題なし。 本剤服用2時後、異常行動発現(叫び暴れだした)。 入院後、水分補給の目的で点滴実施、リレンザ処方したところ、解熱。 翌日、回復退院。
118	B-06025425	男	1■歳	75 mg	クラリスロマイシン 塩化リゾチーム 塩酸アンプロキシール アセトアミノフェン	意識レベルの低下	回復	発熱(37.2℃)、頭痛、咳、鼻症状、関節痛、倦怠感があり、確定診断後、夕方本剤を服用。 夜間帯、ボーっとした感じでベランダに出て行き失踪。 本人が素足のまま帰宅する。本人は、この間の記憶が全くない。
119	B-06025518	女	■歳	不明		異常行動 幻覚	回復	インフルエンザ症状により外来受診。 診断キットの結果は陰性であったが、症状より判断して本剤を処方。 昼食後、服用し、数時間後異常行動発現(幻覚、父親を認識できない、部屋を飛びだそうとする)。 異常行動は、数時間のうちにおさまる。 翌日、解熱し、診断キットで再検査したが陰性であった。
120	B-06025576	女	1■歳	150 mg		異常行動	回復	本剤処方の昼食時に服用。 その夜、異常行動発現(突然泣き始め、素足で土間の方へ飛び出し「目がとれた」と叫ぶ)。 約10分で落ち着き、両親がおさえる。体温(37.5℃) 翌朝から、本剤服用再開、その後異常行動なし。本剤投2日後、外来受診し、異常行動回復となる。

No.	識別番号	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
121	B-06025685	男	1■歳	75 mg		異常行動	回復	発熱(38.5°C)鼻症状であったため、確定診断後本剤を投与。 その夜、異常行動(トイレに行こうと立ち上がったが倒れた。トイレに付き添っていくもトイレの中、壁に向かって排尿し、ふらふら歩き出し、台所の床に倒れ込む)発現。 母親、心配になり、救急依頼。体温(38.2°C)。 入院後、補液管理となり(体温:38.8°C)、その日の夕刻、異常行動回復。
122	B-06024434	女	1■歳	75 mg		転倒	死亡	インフルエンザに対し、リン酸オセルタミビルを服用。服用から2時間後自宅マンションから転落し、心肺停止状態。病院に搬送後に死亡確認。
123	B02-12377	男	1■歳	150 mg		低体温	回復	インフルエンザ確定診断後、本剤投与。 本剤服用後、幻視、低体温、暴れた為、両親がおさえた。体温:34~35°C。 同日、再度服用したところ、幻視、低体温、暴れるなどの症状出現し、再び両親におさえられて治まった。その後、本剤は中止とした。 翌日、低体温は継続。 投与中止3日後、幻視、低体温回復
124	B-06004486	男	4■歳	150 mg	非ピリン系感冒剤 アスピリン ヒベンズ酸チペピジン リン酸ジメモルファン プラノプロフェン 塩酸セトラキサート	死亡	死亡	期外収縮及び心房細動の患者。発熱、咳、鼻症状、関節痛及び倦怠感があり、インフルエンザの疑いで、リン酸オセルタミビルを服用開始(併用薬は左記のとおり)。服用3日目の夜、家人に気づかれないまま車で外出。自宅より30km離れた海の岸壁で車が発見され、人が海に落ちた形跡あり。約2ヶ月後、海中より死亡した本人が発見された。
125	B-06007798	男	1■歳	150 mg	アセトアミノフェン	死亡	死亡	発熱があったため、家族に処方されていたリン酸オセルタミビルを75 mg/日服用。その後、熱が下がらないことから、左記併用薬を服用。同日夕方、自宅のある高層住宅の駐車場で心肺停止状態で発見され、病院に搬送されたが死亡。

No.	識別番号	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
126	B-05001178	男	9■歳	75 mg	ロキソプロフェンナトリウム 塩酸チクロピジン センノシド ニフェジピン	胃腸出血	死亡	慢性腎不全、脳梗塞、便秘、及び高血圧の患者。血液透析を約10年前から施行。インフルエンザA型と診断され、入院。当日の夕方リン酸オセルタミビル75mgを服用(併用薬は左記のとおり)。入院4日目の夕方、不穏な行動あり(少し認知症の気があった)、その後嘔吐(潜血反応+)あり。その3日後の夜以降、下血が続き、深夜、呼吸状態が悪化し、血圧低下、心拍数低下となり、次の日の早朝、死亡を確認。
127	B-05000876	男性	■歳	60 mg	アセトアミノフェン	尿失禁	回復	約1ヶ月前、インフルエンザAの診断で、本剤51mg、5日間投与。異常なし。 発熱、嘔吐にて来院。流行状況よりインフルエンザと診断し本剤60mg投与開始。 3日目、発熱は継続し、意識もうろう状態で意味不明言葉を発し、泣き、尿失禁する。10分後に落ち着く。 4日目、朝から本剤の服用を中止していたが、夜、睡眠中に突然起きあがり、壁をガンガン叩く等の興奮状態。10～15分で再入眠。1時間ごとに4～5回繰り返した。 翌日回復。
128	B-05018850	女性	6■歳	150 mg	インフルエンザHAワクチン 塩酸パロキセチン フルニトラゼパム 酒石酸ゾルピデム 塩酸フロキシフェン アセトアミノフェン	劇症肝炎	不明	2日前、インフルエンザワクチン接種。 発熱、咽頭痛より、インフルエンザを疑い本剤5日間投与。 投与終了1日後、急性肝炎疑いで入院。 投与終了5日後、ベットより飛び降りたり、大声で叫ぶ。血漿交換のため転院。